

芸術（音楽Ⅰ）

履修単位	2単位	学 年	1年
学科コース	商業科	区 分	必修 ・ 選択
使用教科書	MOUSA1		
副教材等			

1. 科目を通じた学習内容と学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けるようにする。

(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 授業を受けるにあたってのアドバイス

- ・ どんな小さなことでも自分の頭で考え、自分の感覚を通して気づき、表現する科目です。
- ・ 教科書や配布プリントを参考にしながら、実技を通して音を表現していく事が大事です。
- ・ 上手下手ではなく、発見・思考することを心がけ、それを自分の音（声）で積極的に表現することを意識しましょう。

3. 科目を通じた評価の観点と評価方法

観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・ 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
評 価 方 法	<p>ワークシート レポート 実技試験</p>	<p>実技試験 振り返りレポート</p>	<p>出席状況・授業態度 ワークシートやレポートの提出状況</p>

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（単元）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 年間を通じた学習計画

(より詳細な「学習内容・ねらい」・「評価の観点・評価方法」等については、各単元の最初の授業等で説明します。)

知識・技能＝【知技】 思考・判断・表現＝【思判表】 主体的に学習に取り組む態度＝【態度】

学期	単元の学習内容	単元の学習目標（ねらい）	単元の評価規準	主な評価の観点			備考
				知技	思判表	態度	
一学期	楽譜の読み方	楽譜を読むために必要な知識を身に付ける。	楽譜を読むために必要な記号・記号の意味を理解しているか。	○			
	歌唱 校歌・愛唱歌の歌唱	曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用などの技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌う。	曲にふさわしい発声、身体の使用などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付けているか。	○			
			イメージをもって、試行錯誤しながら表現を工夫しているか。		○		
			曲想と音楽の背景などとの関りに関心を持ち、主体的、協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしているか。			○	
	器楽 ギター・ヴァイオリンの基本奏法	曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使用などの技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して演奏する。	曲想と音色の変化と奏法との関わりについて理解し、器楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。	○			
			イメージをもって、試行錯誤しながら表現を工夫しているか。		○		
曲想と音色や奏法との関りに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしているか。					○		
二学期	文化祭での発表 アンサンブル	各パートの役割を理解するとともに、全体の響きをイメージしながら表現を工夫してアンサンブルをする喜びを味わう。	各パートの役割を理解するとともに全体の響きやハーモニーをイメージしながら演奏する技能を身に付けているか。	○			
			共通のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫しているか。		○		
			一人一人が主体性を発揮しながら、他者との調和を意識して演奏しているか。			○	
	器楽 キーボードの基本	コードの仕組みを理解し、曲にふさわしい奏法、指使いなどの技能を身に付けながら、イメージをもって演奏する。	コードの仕組みを理解し、キーボードを弾くための技能を身につけているか。	○			
			コードのつながりによってできた響きを感じながら、イメージをもって演奏しているか。		○		
			コードの仕組みを理解し、コードのつながりによってできる響きを感じながら、主体的に学習活動に取り組もうとしているか。			○	
三学期	創作 メロディーを創る	多くの曲に用いられているコード進行をもとに、音のつながりやフレーズのまとまり、重なりによる響きを理解し、さまざまな手法を活用しながらイメージをもって創作する。	コードの構成音を理解し、音の組み合わせ方やつなげ方を試しながら、自分の表したいメロディーを創っているか。	○			
			音のつながりと、コードの響きを知覚し、それらの働きを感受しながら、どのような音楽を創るかについて表現意図を持っているか。		○		
			コードの響きからイメージを膨らませ、主体的に創作の学習活動に取り組もうとしているか。			○	
	鑑賞 ミュージカルの魅力	総合芸術としてのミュージカルの音楽的特徴と他の芸術分野（文学、演劇、舞踏、舞台美術、照明等）との関わりに関心を持ち、音楽のよさや美しさを味わう。	ミュージカルの特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解しているか。	○			
			音楽を形づくっている要素やそれらの働きに注目しながら曲を聴き、音楽の構造との関わりについて理解しながら根拠をもって曲や演奏を批評しているか。		○		
			総合芸術としてのミュージカルの音楽的特徴と他の芸術分野との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしているか。			○	